



6TH WHO GICC IN TOKYO 2026

子どもの心に寄り添う希望の家 ～地域型こどもホスピスのリアリティ～

2026.9.5【土】

国立がん研究センター 研究所1階 大会議室

開場:12:00 開演:13:00 終了:16:00

定員: 200名 (参加費無料・先着順)



主催:

NPO法人小児がん・まごころ機構 (MOCC)
アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG)
アジア小児がん学会 (SIOP Asia)

共催:

医療健康アセット協創コンソーシアムWith.C.

協力:

合同会社 DISCOLOR Company



MESSAGE



中川 原章
NPO法人小児がん・まごころ機構 理事長
アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG) 会長

私たちは、日本とアジアの小児がんの問題に取り組んでいます。
アジアでは、毎年25万人の子ども達が小児がん罹り、その多くは発展途上国で亡くなっています。アジアの先進国である日本でも、まだ20%の小児がんの子どもが助かっていません。今回は、「地域型こどもホスピス」をテーマに、みんなで子どもたちの命の大切さと生きがいについて考えてみたいと思います。



当日12時から集合！
体験型イベントも実施♪

事前お申し込みはこちらから → → →
※当日参加可

URLはこちら
<https://forms.gle/nSMlswmFpSRuXjhDA>



公益財団法人
がんの子どもを守る会による
レモネードスタンド出店



休憩時間は、
レモネードで乾杯！



広島大学病院
小児外科 佐伯先生



© 清水茜/講談社・アニプレックス・davidproductio

MOCC事務局電話番号: 0942-50-5542
メールアドレス: whogicc2026@mocc4u.org

後援: 厚生労働省、国立がん研究センター、国立成育医療研究センター、UICC日本委員会、UICC-ARO、認定NPO法人日本小児がん研究グループ、一般社団法人日本小児血液・がん学会、公益財団法人がんの子どもを守る会、NPO法人アジア・チャイルドケア・リーグ、認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト、認定NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、NPO法人がんサポーターズネットワーク、NPO法人バブルサポートキッズの会、NPO法人クレバスサポート、一般財団法人量子医療推進機構、パブルソングスキャンフライヤパン、NPO法人鳥栖子どもミュージカル、ティーンズミュージカルSAGA、一般社団法人ゆうきとのそみ、医療健康アセット協創コンソーシアムWith.C.

PROGRAM

総合司会：内藤真澄
(MOCC事務局)

第1部

◆小児がんのうた

パープルソングスキャンフライジャパン

◆来賓挨拶

自見 はなこ 参議院議員
岩田 和親 衆議院議員
森光 敬子 厚生労働省 健康・生活衛生局

◆基調報告

『アジアにおける小児がん活動報告』

中川原 章

NPO法人小児がん・まごころ機構 理事長
アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG) 会長

◆小児がん患者のためのVRソフト

『はたらく細胞VR』

佐伯 勇

広島大学病院 小児外科 病院診療准教授

◆ステージ①みんなで歌おう♪

ことりゆき with いちご合唱団

『We are family』ほか

休憩時間は
レモネード



第2部

◆パネルディスカッション

『地域型こどもホスピスのリアリティ』

司会：入江 佳代子・中川原 章

パネリスト

- ・佐藤 良絵 東京こどもホスピスプロジェクト 代表理事
- ・田川 尚登 認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト 代表理事
- ・内川 麻実子 こども家庭庁 成育局成育環境課 専門官
- ・田中 徹 公益財団法人がんの子どもを守る会 副理事長
- ・津田 和泉 公益財団法人 ON THE ROAD 代表理事

☆会場ご参加者との意見交換

◆ステージ②楽器演奏

今井 貴子：フルート

田中 翔一郎：ピアノ

『星に願いを』ほか

◆閉会の挨拶

若尾 文彦

国立研究開発法人国立がん研究センター
がん対策情報センター本部・副本部長

※敬称略